



代田・九条の会 3周年記念のつどい

晴天の文化の日、11月3日、の午後、代田・九条の会の「3周年記念のつどい」が、70人余の参加で、東京都民教会の礼拝堂で開かれた。坂本功さんの司会により、小澤清子さんが「この1年間の活動と今後の活動予定」を報告した。

続いて保坂展人・世田谷区長が、「住民自治と日本国憲法」と題して話をされた。この4月に世田谷区長に当選した保坂さんは、立候補のいきさつから最近の放射能問題などエピソードを交えながら、「護憲の区」「脱原発の区」として話をされたが、まだ序の口とのことであった。時間が経過したため、話の後の質疑は2、3を受けるにとどまった。

次に、声楽家の佐藤真子さんが素晴らしい声量で、「無言館の歌」「一本の鉛筆」「黒いひとみ」「君、死に給うことなかれ」などの反戦の歌を、弾き語りで歌われた。心に響く歌を心を込めて歌われ感動に涙する姿も見られた。最後に皆で「ふるさと」を合唱し、盛り上がった。

休憩の後、教会の亀田正巳牧師の憲法を守る視点でのあいさつを受けた。

続いて、小倉志郎さんの「私たちは原発と共存できない」という講演があった。小倉さんは、あちこちの原発の建設を担当された元・原発技師であるが、原発の危険性に気づき、脱原発の立場になった方である。2007年7月発行の雑誌「リプレーザ」に「原発を並べて自衛戦争はできない—原発と憲法の関係」という論文を発表され、今回の福島での原発事故の予言となっていることから、講演をお願いすることになった。

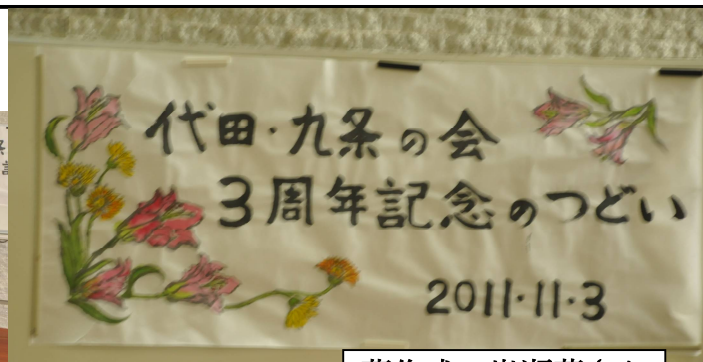
小倉さんは、原発批判などの資料をあらかじめ配布された後、冒頭に内部被ばくが遺伝子に恐ろしい影響を与えることを図示した自作の紙芝居を上演された。そして、放射能汚染の危険性と除染の重要性・困難性を強調され、事態は深刻であることを強調された。また、政府・マスコミがこの事態の重大性を直視することを避けているとされた。しかしながら、我々はこのリスクをきちんと認識し、脱原発を進めなければならないと話を結ばれた。その後、質問・感想の時間を予定していたが、時間がかなり超過していたこともあり、2人程度の発言にとどまった。

最後に、閉会にあたり、当会の会長・野間口が、連帯を深めていくために会に入会されることを訴え、また、つどい開催などに必要なカンパへの賛同をお願いして、5時過ぎに閉会した。

(代田5丁目・野間口 至)



写真撮影：小澤満吉さん



幕作成：岩瀬薫さん



無言館

アンケートから

1. 保坂 展人さんのあいさつ「住民自治と日本国憲法」について

- ・世田谷区長・保坂展人氏は、流石にジャーナリスト・市民運動家・国会議員出身だけあって、話が解りやすかった。
- ・全く期待はずれ。区長として世田谷区をどう変え、その為に住民もこのように協力してほしいというような話はなく、ありきたりの話で、区長かと思った。
- ・お話の中で、気になったことがあります。国会の中で（与党、野党とも）、マスコミも原発について議論してこなかったと云われた。しかし、共産党の不破哲三さんはじめ、現職の吉井議員が福島原発の危険性について、政府を追及した事実について認識されてないようなお話しでしたが、他党のことは知らないということでしょうか。
- ・保坂区長の脱原発への取組みに期待しています。

2. 佐藤 真子さんの歌について

- ・広島之歌、無言館の歌、只々胸がつまって、涙が出てきました。リリマルレーンも私の大好きな歌です。思わず一緒に口ずさんでいました。声も最高です。500円では安すぎる。CDとカンパをしていきます。
- ・本格的に勉強された方の歌の迫力と平和を歌った歌曲の内容は、コンサート会場で聴くように濃密で、心にせまるものでした。
- ・与謝野晶子作詞による「君、死にたもうことなかれ」の歌唱には心を打たれた。無言館の歌も素晴しかった。
- ・心に響く歌でした。心にこもった歌を心を込めて歌われて、涙が心から溢れました。
- ・力強い反戦の歌々を、心にしみて聴きました。
- ・美しく力強い歌声に感動しました。
- ・こんな感激的なコンサートは初めてです。
- ・初めて聴きましたが、素晴らしかったです。
- ・静かな反戦活動にエールを送ります。
- ・訓練されたよく通る声で、平和の歌を生き方として歌っている佐藤真子さんは素敵だと思いました

3. 小倉 志郎さんのお話「私たちは原発と共存できない」について

- ・「原発を並べて自衛戦争はできない」という言葉は本当にそのとうりだ。原発推進派の人たちには真剣に考えてほしい。人間の手で解決できない物を作るべきではないでしょう。
- ・一番聞きたかった方のお話を聞くことができました。分りやすい本当の話に、反原発運動に力をそそぎたい。
- ・ずーとお会いたかった人で嬉しかった。もっともっとお話を聞きたい。
- ・とつとつとゆっくり話されるので、実体験で大事なことが解りやすい。
- ・紙芝居でとてもわかりやすかったです。
- ・ご自分の経験を踏まえた充実したお話。有益でした。
- ・とても良かったです。もっともっとお話を聞きたいと思います。放射性物質から日本国内にいれば逃れられないのですね。
- ・もっともっとマスコミは、原発について国民に知らせるべきです。
- ・立場のはっきりしない人の話は、あまり面白くなかった。全体的に長くポイントがはっきりしない。原発の構造は余り感心がないのでは。時間がないのに笛と紙芝居はやらなくてよい。
- ・細か過ぎ、説得力・編集力がない。まさに期待はずれそのものであった。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」の諺通りである。



活動報告をする小澤 清子さん



小倉 志郎さん

アンケートから

4. 今回のつどい全体について

- ・保坂区長の話・佐藤さんの歌・小倉氏の話とプログラムが充実していました。
- ・素晴らしい集いでした。
- ・時間が短いです。
- ・この建物に入ったのは、初めてですが、たずまいとしても素敵です。
- ・素晴らしい企画が、少人数で行われたのは、もったいないと思いました。
- ・今まで、多く出席していますが、企画した人たちには申し分ないが、今回は歌を除きよくなかった。
- ・もっともっと多くのひとの出席が欲しい。九条をまもる、原発廃止を益々訴え続けます。

5. 代田・九条の会のとりにくみについて

- ・少ない予算で盛り沢山の内容、楽しみにしています。
- ・ご活躍に元気をいただいています。いつも企画が素晴らしいです。
- ・今後も益々ご健闘下さい。
- ・入会していませんが、ずっと続けて下さい。
- ・初めて知りました。
- ・大江健三郎氏は、ノーベル賞受賞後に、文化勲章を追贈しようとした日本政府に対して「米国国旗が旗めく基地が存在する国からは受けたくない」と断られた。大江さん提唱の「九条の会」に賛意を表す。

6. その他

- ・とても有益な時間でした。有難うございました。
- ・東京都民教会・亀田正巳牧師の話も立ち位置がはっきりし、なかなか深い話であった、会場提供にも感謝する。
- ・福島原発問題不安でした。



保坂 展人・世田谷区長



歌う佐藤 真子さん



東日本大震災第6次支援活動に参加して

10月21日(金)夜から23日(日)にかけ、日本共産党の被災地支援活動で、宮城県石巻に行ってきました。金曜夜、ワゴン車2台11名と、烏山から支援物資を積んだトラック1台2名で出発しました。

石巻には午前5時ころ到着。車中で休憩・食事をした後、8時半に救援支援センターへ。近くに大きな倉庫を借りて物資置き場にしており、トラックの荷物をおろしました。トラックはそのまま帰京しました。別途自家用車で参加されたご夫婦と合流し、13名で作業を開始しました。

救援センターには担当者が交代で常駐しています。あいにくの雨でしたが、全国から送られてきた服や日用品、食器などを分類していく係と、食料を小分けしていく係とに分かれて作業しました。

私は食料係になりました。具体的には、お米を30kg入りの袋から2kgずつに分け、ジャガイモ3コ・玉ねぎ3コ・キャベツ半分とをセットして袋詰めをします。午後には、それらをトラックに積んで仮設住宅に届ける予定でしたが、雨が止まず、午後も仕分けの作業を続けました。200セットくらい袋詰めをやりました。4時までには作業を終え、近くの「道の駅」で入浴・食事を済ませました。その後、車で1時間くらいかけて、泊めていただくお宅へ。その夜は暖かい布団でぐっすり眠ることができました。前夜は車中泊だったので泊まらせていただき感謝です。また、眠らず運転していただいた方にも感謝です。一方で、被災者の方が避難所で過ごすことがどんなにつらかったことかと思いました。今も、冬に向けて布団が足りない、と聞いています。

建物が横倒しになって、駅だったところは線路が見当たらず、言われなければ駅だったとはわかりません。港の先では、1軒だけ魚屋さんが店を開けていました。

まだまだ復興までには程遠いと感じますが、出会った方々はみんな明るく接して下さいました。たった2日間だけでしたが、行ってよかったと思います。少しでも息長く支援していきたいと思います。

(代田4丁目・萱野 幸子)

集会等の紹介

12月 11日(日) 開演 14:00

歌うよろこび 合唱団コアフロイデ 第15回コンサート <<悲しみを乗り越えて>>

指揮：佐藤 真子 ピアノ：稲川 ミチ

入場無料

会場 梅が丘パーク・ホール2階(小田急線「梅丘駅」北口下車 徒歩3分)

12月 14日(水) 開場 18:30 開演 19:00

「さようなら原発。平和・9条」音楽と講演のつどい 参加費：2000円(当日券 2300円)

音楽：うた 新垣 勉(テノール歌手)

講演：「3・11を生きのびる憲法が息づく日本へ」

小森 陽一(九条の会 事務局長)

訴え：福島県九条の会(真木 實彦 事務局長)

会場 なかのZERO・大ホール(JR、地下鉄「中野駅」下車 徒歩5分)

連絡先 九条の会東京連絡会(Tel 03-3518-4866)

申込み 郵便振替で。 〆切：11月30日(水)

「音楽と講演のつどい・入場券〇枚希望、名前、住所、電話番号」記載。

郵便振替口座：0180(6)762960

加入者名： 九条の会東京連絡会

10枚以上1800円
事務局に数枚あります



日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++